

遠隔授業プラン（〇月〇日 公開授業）

授業者（T1） ○○○○○○（中心校：送信側）

授業補助（T2） □□ □□□（深浦校舎：受信側）

- 1 対象生徒・年次：深浦校舎・2年次生21名（男子11名、女子10名）
- 2 教科・科目・教材：国語・「現代文B」・「俳句に親しもう～創作に挑戦～」
- 3 本時の学習目標：生徒が俳句を創作し、創作の意図も含めて他者に対して効果的に発表することができる。（思考・判断・表現）

4 本時のながれ

過程	中心校（送信側）	深浦校舎（受信側）		評価の支援
	教師（T1）	生徒	教師（T2）	観点別評価
導入 (5分)	○挨拶、出欠確認 ----- ○本時の学習展開の説明			
展開 (40分)	○			
	○			
	○			
まとめ (5分)	○まとめ			

5 画面構成

中心校（送信側）		深浦校舎（受信側）	
メイン（液晶テレビ）	サブ（プロジェクター）	メイン（液晶テレビ）	サブ（プロジェクター）
深浦校舎 教室・生徒	PP画面 送信用	教師画像 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">※</div>	PP画面 送信用

※深浦生徒（P in P）で出してください

※授業の最初から最後まで上記の画面構成で、深浦カメラを送信側でコントロールします。

遠隔授業プラン（6月15日 公開授業）

授業者（T1） 佐々木正仁（中心校：送信側）

授業補助（T2） 藤林 美穂（深浦校舎：受信側）

- 1 対象生徒・年次：深浦校舎・2年次生21名（男子11名、女子10名）
- 2 教科・科目・教材：国語・「現代文B」・「俳句に親しもう～創作に挑戦～」
- 3 本時の学習目標：生徒が俳句を創作し、創作の意図も含めて他者に対して効果的に発表することができる。（思考・判断・表現）

4 本時のながれ

過程	中心校（送信側）	深浦校舎（受信側）		評価の支援
	教師（T1）	生徒	教師（T2）	観点別評価
導入 (5分)	○挨拶、出欠確認 挨拶をさせ、出欠を確認する	本時の学習内容を確認する	映像と音声の状況を確認する	サブ画面にP P提示
	○本時の学習展開の説明 今日の学習の流れを確認する			
展開 (40分)	○前回の復習 五・七・五、季語などを指名・ 発問し確認する	教師の発問に答える 不明な点は質問する		
	○グループに分かれて発表 グループに机を並べるよう指示する カメラ操作1	机を移動する 各自が発表する	1人2, 3分で発表するよう指示する	カメラで机間 巡視 カメラ 操作1
	○各グループの代表者による 発表 カメラ操作2 カメラ操作3	プリントをカメラに向ける 代表者が発表する 他のグループのメンバーが発表する	話し合いで代表を決めるよう指示する	発表場面を集音 マイク移動1、 2
まとめ (5分)	○まとめ 俳句の作成、鑑賞について、 「五感をフルに活用し、想像 力を働かせること」が大切で あることを確認する	本時のまとめを確認する	マイク移動1 1人2, 3分で発表するよう指示する マイク移動2 他のグループの生徒に 質問や意見・感想を述 べるよう指示する	カメラでズーム カメラ操 作2、3 自作の俳句を 効果的に発表 している 【思考・判断・ 表現】
	○連絡・挨拶 俳句プリントの提出を指示する	プリントを提出する	プリントを回収する	サブ画面にP P提示

5 画面構成

中心校（送信側）		深浦校舎（受信側）	
メイン（液晶テレビ）	サブ（プロジェクター）	メイン（液晶テレビ）	サブ（プロジェクター）
深浦校舎 教室・生徒	PP画面 送信用	教師画像 ※	PP画面 送信用

※深浦生徒（P in P で出してください）

※授業の最初から最後まで上記の画面構成で、深浦カメラを送信側でコントロールします。

遠隔授業プラン連絡シート

送信日

2017/6/9

実施日	月	日	曜日	校時	:	~	:
回線接続時刻（記載無しは授業開始5分前）					:	~	:
教科・科目				授業担当者			
対象		HR		名			
受信教室							
補助教員が準備するもの							
生徒が準備するもの							
補助プリント等の有無			1				
			2				
		↑有・無	3				
データ画面（PP等）送信の有無							
受信側 使用機材	メインモニター	スクリーン		書画カメラ	その他1	その他2	

授業展開

展 開	学 習 内 容	補 助 教 員 の 活 動	備 考

連絡事項

1	
2	
3	

遠隔授業導入から運用までの工程表（想定案）

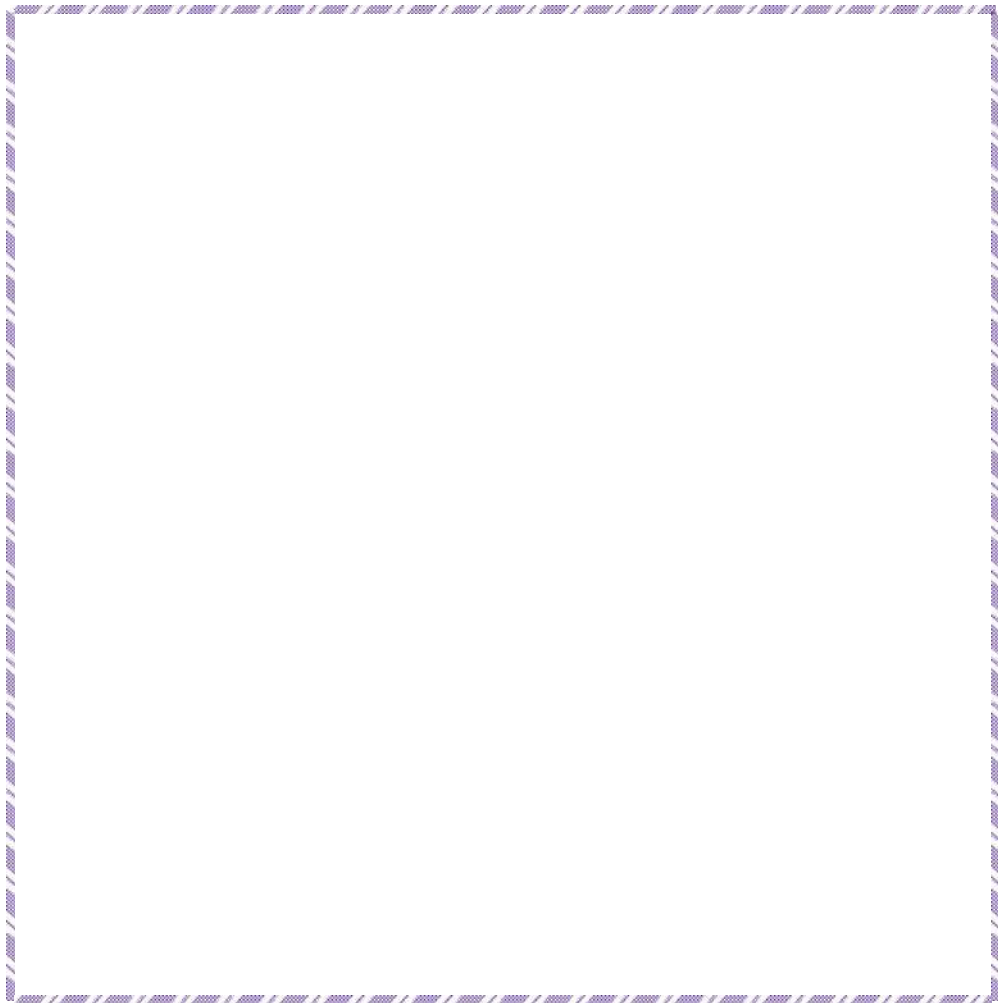
時期	校内		機材	備考
	送信校 (協力校)	受信校 (実施主体)		
前年度年初	プロジェクトチームの編成			プロジェクトチームには事務職員もメンバーにする
	標準システムの検討 使用回線の検討			各学校共通のシステム
前年度7月までに	教育課程への意見具申	教育課程の検討		
		遠隔授業を実施する教科・科目の決定	校内配線の検討 メイン教室 サブ教室 理科室（1教室） 体育館 音楽室（芸術） 調理室 情報処理室	校内配線は受信校と送信校とも同じ教室に配線 W i F i の可否も検討
	教科書選定			
			学校オプションの検討	
			入札	
			回線工事、配線、機材の納入	
夏季休業中	機材に係る研修		稼働開始・設定の調整	
				遠隔授業用H P の開設
前年度11月までに		教職員調書の作成		遠隔授業に係る持ち時間数の計上
前年度12月までに	試験的遠隔授業の実施（複数回）			遠隔授業用H P の管理・運用
	副教材の選定への意見具申	副教材の選定		
前年度1月までに	準備担当者（教科・科目）の決定			
前年度年度末までに	シラバス・年間指導計画の作成			
	評価方法・手段の確認			評価の分担、評価データのやりとりの確認
	校時表の調整			
	年間行事予定表の調整			授業外の活用場面の検討（行事、講習等）
	授業時間割表の調整			持ち時間数に遠隔授業の時間数を位置づける
年度始め	管理・運営委員会の設置			校内分掌への位置づけ
	サブコーディネーターの決定	メインコーディネーターの決定		コーディネーターは教頭か教務主任が望ましい（メインとサブは同格がやりやすい）
	授業担当者の決定 (予備担当者も)	授業補助者の決定 (予備担当者も)		
	授業・評価方法の確認 (シラバス・年間学習指導計画)			
	校内研修の実施			
	不通時の教材準備			
新学期		遠隔授業オリエンテーション	保守・点検・修理	データの管理
	授業開始			
	授業に係るデータの送受信			
	考査の実施			
学期末	評価作業	成績処理への反映		
長期休業中	研修の実施（I C T活用講座、次年度に向けて）			
12月までに	遠隔授業実施に係る検証・改善、遠隔授業システムに係る検証・改善			

平成28年度多様な学習を支援する高等学校の推進事業
～ICTを活用した高等学校における遠隔教育の普及・推進～

実践・研究のまとめ
(報告書)

平成27年度(第1年次)
平成28年度(第2年次)
(PDFデータ DVD-R)

平成29年2月 刊行





深浦校舎



木造高校

青森県立木造高等学校
038-3193 青森県つがる市木造日向73-2
Tel 0173-42-2066
enkaku-kizukuri@asn.ed.jp

青森県立木造高等学校深浦校舎
038-2321 青森県西津軽郡深浦町広戸字家野上95の157
Tel 0173-74-2921
enkaku-fukaura@asn.ed.jp